

Summer TECH- CAMP 2026 講座案内



講座案内はこちらの
二次元コードからも
ご覧いただけます。

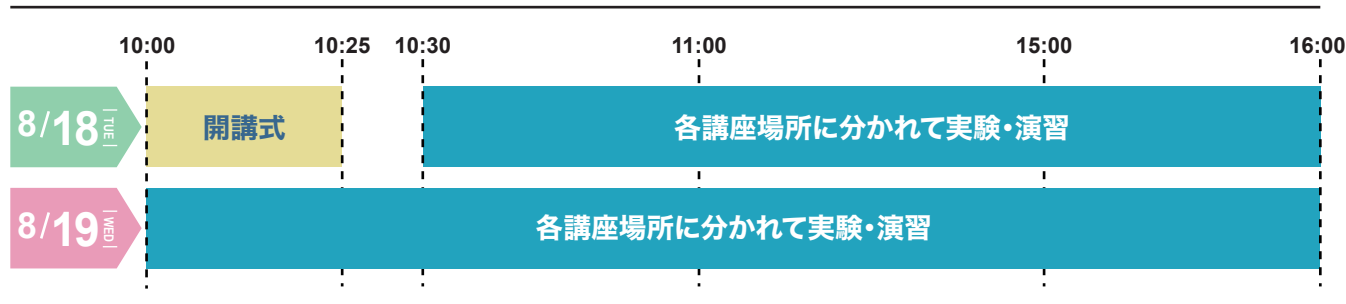


国立大学法人
豊橋技術科学大学

Summer TECH-CAMP 2026

8/18 TUE ・ 8/19 WED 10:00 ~ 16:00

Time Schedule



1. ジュエリーや機械をつくる鑄造の体験

講師 小林 正和・Khoo Pei Loon

所属 機械工学系 定員 8人

2. トライボロジーの世界を体験しよう

-油やグリースを使えないところでものを滑らすには?-

講師 竹市 嘉紀

所属 機械工学系 定員 3人

3. 自律移動ロボットの経路生成

講師 高橋 淳二・堀尾 亮介・内山 直樹

所属 機械工学系 定員 6人

4. 未来をつくる「半導体センサ」を体験しよう

講師 高橋 一浩・崔 容俊・権 益賢

所属 電気・電子情報工学系 定員 3人

5. 静電場の数値シミュレーション

-教科書の公式はどこまで正確?-

講師 羽賀 望

所属 電気・電子情報工学系 定員 3人

6. AIと声で会話しよう

-音声対話システムをつくる-

講師 西村 良太

所属 情報・知能工学系 定員 5人

7. 自分の選択、本当に自分で決めている?

-認知科学で探る人の意思決定のしくみ-

講師 日根 恭子

所属 情報・知能工学系 定員 4人

8. 身近な物質の結晶化とX線構造解析

講師 原口 直樹・藤澤 郁英

所属 応用化学・生命工学系 定員 5人

9. クロマトグラフィーを用いた分離と検出

講師 齊戸 美弘・中神 光喜

所属 応用化学・生命工学系 定員 3人

10. 建物の振動を調べてみよう

講師 中澤 祥二・瀧内 雄二

所属 建築・都市システム学系 定員 4人

11. 都市や交通のデータ分析・シミュレーション

講師 杉木 直・松尾 幸二郎

所属 建築・都市システム学系 定員 3人

12. センサ技術で科学する

講師 岡田 浩・武藤 浩行・Tan Wai Kian

所属 総合教育院 定員 6人

講座 1

ジュエリーや機械をつくる鑄造の体験

機械工学系

小林 正和 教授
Khoo Pei Loon 助教

定員 8 名

金属や樹脂を加熱して液体にし、型に流して形状をつくる技術を鑄造（ちゅうぞう）といいます。ロボット・自動車・航空機などの工業製品、ジュエリー・調理器具などの生活用品のものづくり技術として、多岐にわたって利用されています。鑄造には複雑な形状でも安定して大量に造れる特徴があります。

このテーマでは、鑄造プロセスを学習するとともに、金属を用いた鑄造実験により立体形状を造ります。自分でデザインしたオリジナルの指輪を、3D-CAD を使ってコンピュータ内に 3D モデル化します。美しい立体造形のためには、型の内部を液体（金属）がきれいに流れることが大切になります。デザインした 3D モデルは、3D プリンタを使うことで作製できます。鑄造実験では、砂に指輪のモデルを埋込み型を作製して、溶かした金属を注ぎ込み、よく冷ましたあとで製作物を取り出し、最後に外観を仕上げ品質を観察します。これらの実習を通してものづくりの面白さを体験し、さらに、難しさを、大学院生や鑄造のプロと一緒に考察しましょう。（※本テーマは、日本鑄造工学会東海支部の支援のもとで行われます。）



講座 内容	1 日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイダンス ・ 鑄造に関する講義
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指輪のデザイン ・ CAD でモデル作成、3D プリンタで指輪モデルのプリント
	2 日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 注意事項の説明 ・ 砂型の作製、鑄込み
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 型ばらし、磨き ・ 作製品の評価、まとめ
事前課題		指輪のデザインを考えて来てください。	
連絡事項		二日目、実験・作業があるため作業しやすく汚れても良い服装、履き物で参加してください。	
受講生用相談窓口		担当 : 小林 正和 e-mail : m-kobayashi@me.tut.ac.jp TEL : 0532-44-6706	

講座 2**トライボロジーの世界を体験しよう****ー油やグリースを使えないところでものを滑らすには？ー**

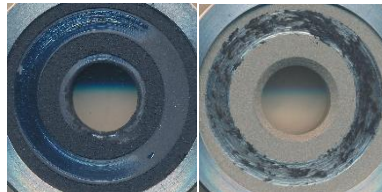
機械工学系

竹市 嘉紀 准教授

定員 3名

私たちの身の回りには物と物とがこすれ合う部分（摩擦面）がたくさんあります。もちろん工業製品の中には数え切れないほどの摩擦面があります。摩擦面はしばらく使っていると摩耗してすり減ってしまいます。そこで一般的には、摩擦面に油やグリースなどを塗ることで滑りやすくし、すり減らないようにします。ところが、油で汚れてはいけない場所、油が蒸発してしまうような高温や真空中、油が役に立たないくらい力の加わる場所などでは、油やグリースが使えません。何か他の方法ですべりを良くする必要があります。その方法の一つが固体潤滑（固体材料を用いてすべりを良くする）という方法です。

このテーマでは実際に固体潤滑に広く用いられている二硫化モリブデンや黒鉛（グラファイト）という材料をとりあげ、原料から摩擦試験用の試料を作成してもらい、これらの材料がどのくらいすべるのか、またどのくらいすり減るのかを調べます。



摩擦試験後の様子

講座 内容	1 日目	午前	<ul style="list-style-type: none">・トライボロジーの基礎知識の説明 (D-315)・試験片の作成 (D4-102)
		午後	<ul style="list-style-type: none">・試験片の作成・摩擦試験
	2 日目	午前	<ul style="list-style-type: none">・摩擦試験、摩耗量の計測・試験片の観察
		午後	<ul style="list-style-type: none">・試験片の観察・結果の整理と検討
事前課題	なし		
連絡事項	実験を行いますので、汚れても良い服装で参加してください。		
受講生用相談窓口	担当 : 竹市 嘉紀 e-mail : takeichi@tut.jp TEL : 0532-44-6663		

講座 3

自律移動ロボットの経路生成

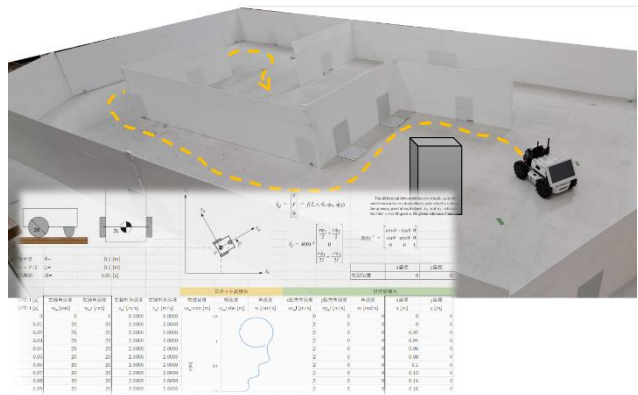
機械工学系

高橋 淳二 准教授、堀尾 亮介 助教
内山 直樹 教授

定員 6名

お掃除ロボットやファミリーレストランでの配膳サポート、あるいは複合商業施設での案内支援など私たちの生活する場面でも自律移動型のロボットを目にする場面が増えてきました。自律移動型ロボットの最も基本的な機能は目的地まで自走してたどり着くことですが、そのためにはどのような技術が必要でしょうか？ロボット工学では 1980 年代頃から移動ロボットの研究が始まり、完全に自律的に移動するロボットには、環境認識、自己位置推定、経路生成、経路追従の要素技術が必要であると整理され、そして今日までにそれぞれの要素で様々な高度な技術が研究開発されてきました。

本講座では、教育用の小型 UGV (Unmanned Ground Vehicle) である LIMO (AgileX Robotics) を使って、特に経路生成と経路追従の技術について実践的に学びます。ロボットの左右のタイヤをどのように回転させればロボットがどのように移動するかといった移動ロボットの運動学については表計算ソフトを使っての手作業による経路生成のシミュレーションで、直感的な理解を得ることを目指します。さらに前進や回転などの運動プリミティブを組み合わせるプログラミングにも挑戦し、ロボットの移動アルゴリズム開発の体験もします。



講座内容	1日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・講座内容、スケジュールの確認 ・実習用ロボット LIMO の紹介、操縦体験
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ・移動ロボットの順運動学モデル ・表計算ソフトを使った順運動学の確認、経路の生成
	2日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・コマンドシーケンスによる経路生成 ・迷路に挑戦 (シミュレーション、実機ロボット)
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ・迷路に挑戦 (シミュレーション、実機ロボット) ・TAによる SLAM のデモンストレーション
事前課題	<p>下記の事柄について、インターネットで調べながら挑戦してください。例えうまくできなかったとしても、事前に挑戦しておけば実習での学習効率が格段に向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・google account (gmail アドレス) を作って、google ドライブ、や表計算アプリのスプレッドシート を触ってみる。 ・スプレッドシートのグラフで SIN 波、COS 波のグラフを描く。 ・その際に、複数セル選択「Ctrl キーを押しながら矢印キー」、コピー「Ctrl+C」、ペースト「Ctrl+V」、元に戻す「Ctrl+z」を試す。 		
連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具・ノートを持参してください。 ・しゃがんでロボットを観察したりするので動きやすい恰好で来てください。 ・実習中の様子やロボットが走行する様子を写真や動画で撮影しても OK です。学校の先生や家族、友人への報告等にご利用ください。ただし、SNS への投稿はご遠慮ください。 		
受講生用相談窓口	<p>担当 : 高橋 淳二 e-mail : takahashi@me.tut.ac.jp TEL : 0532-44-6675</p>		

講座 4

未来をつくる「半導体センサ」を体験しよう

電気・電子情報工学系

高橋 一浩 教授、崔 容俊 准教授
権 益賢 助教

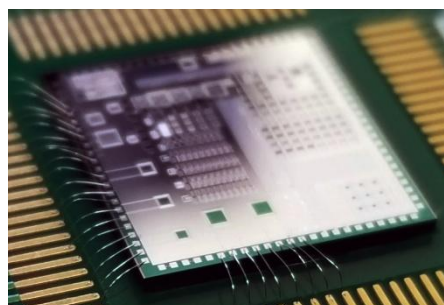
定員 3 名

私たちの生活に欠かせないスマートフォンや自動車の頭脳として活躍しているのが「半導体」という小さな部品です。この講座では、豊橋技術科学大学にある国内トップクラスのクリーンルーム施設を見学し、そこで作られた最先端のバイオセンサを実際に使った実験を行います。

1 日目は、光の反射を利用してウイルスや化学物質を素早く見つける「ファブリペロー干渉型センサ」を体験します。目に見えないほど小さなウイルスを、半導体の力でどうやって検出するのか、その仕組みを実験で解き明かします。

2 日目は、光の色を精密に識別する「フィルタフリー波長センサ」を体験します。通常のカメライはカラーフィルターを使って色を判断しますが、このセンサはフィルターなしで光の波長(色)を直接見分けることができます。

普段は入ることができない特別な施設での見学や実験を通じて、世界を変える「ものづくり」の楽しさと、半導体技術がつくる未来の医療や生活を肌で感じてみてください。



豊橋技術科学大学の半導体施設で開発された半導体センサ

講座 内容	1 日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・ファブリペロー干渉型センサの動作原理の説明 ・ファブリペロー干渉型センサの作製
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ・センサの信号検出回路の実装と評価 ・化学物質の検出試験
	2 日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・波長センサの実装体験（ワイヤボンディング工程）
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ・波長センサの原理説明、特性評価実験
事前課題	身の回りの製品（スマートフォン、自動車、医療機器など）に使われている半導体センサを一つ選び、その役割や仕組みについて A4 レポート 1 枚程度にまとめて実習初日に提出ください。		
連絡事項	クリーンウェア(つなぎ・帽子)着用可能な服装、靴下を着用してください。		
受講生用相談窓口	担当 : 崔 容俊 e-mail : choi.yong.joon.nu@tut.jp TEL : 0532-44-6775		

講座 5

静電場の数値シミュレーション—教科書の公式はどこまで正確？—

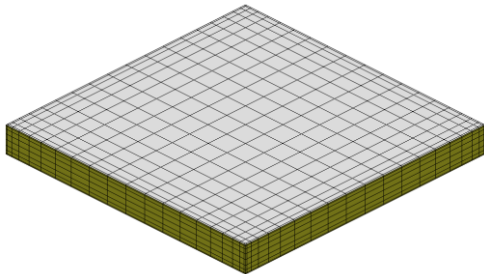
電気・電子情報工学系

羽賀 望 准教授

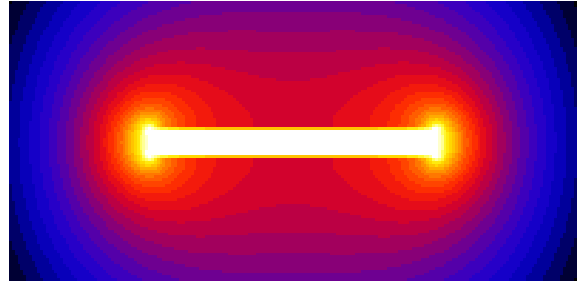
定員 3 名

今日の産業と生活に欠かせない電子部品の一つに、電荷を貯めるコンデンサーがあり、高校の物理でも習います。その静電容量を求める公式は、誘電率と電極の面積に比例し、電極間距離に反比例するとされていますが、これはどこまで正確なのでしょう？実は、この公式の導出過程では、電極や誘電体の端部における電場の複雑さを無視しているため、その影響が無視できない場合には誤差が大きくなってしまいます。しかしながら、複雑さを無視せずに理論式を導くことは容易ではありません。そこで役に立つのが、計算機を用いた数値シミュレーションです。

本講座では、コンデンサー内外の静電場と静電容量を求める数値シミュレーションにより、教科書の公式がどこまで正確なのかを確認します。シンプルな公式の陰に隠れた電磁場の奥深さを覗いてみませんか？



コンデンサーのシミュレーションモデル



コンデンサー内外の電場強度分布

講座 内容	1 日目	午前	・ 高校物理で習うコンデンサーの基本の解説
		午後	・ 静電場シミュレーションを用いる意義についての解説
	2 日目	午前	・ 静電容量と電場強度分布のシミュレーション
		午後	・ シミュレーションと公式で得られた静電容量の比較 ・ 誤差が小さくなる条件の考察
事前課題		なし	
連絡事項		なし	
受講生用相談窓口		担当 : 羽賀 望 e-mail : haga.nozomi.ok@tut.jp TEL : 0532-44- 6752	

講座 6

AI と声で会話しよう —音声対話システムをつくる—

情報・知能工学系

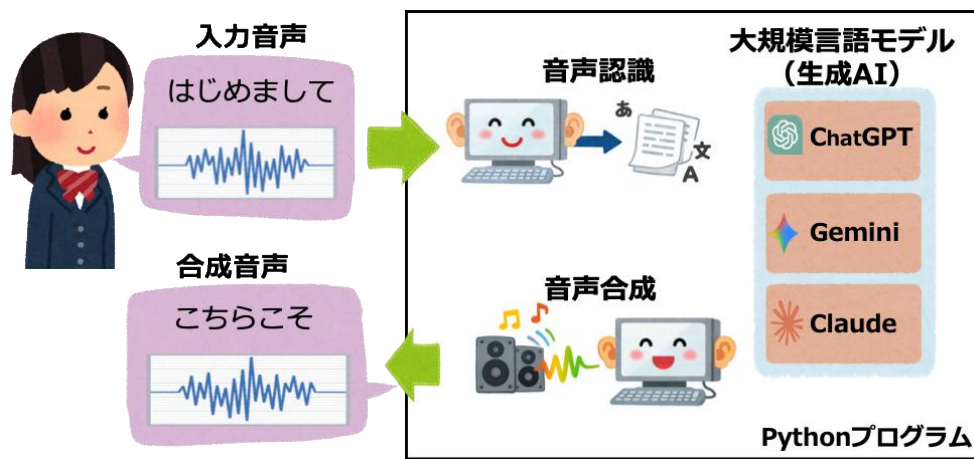
西村 良太 准教授

定員 5 名

ChatGPT に話しかけたことはありますか？ 今、ChatGPT・Claude・Gemini など、さまざまな生成 AI が登場しています。本講座では、これらの AI に実際に触れ、質問の仕方（プロンプト）を工夫することで回答がどう変わるかを体験します。

さらに、人間の声を文字に変換する「音声認識」や、文字を声に変えて読んでくれる「音声合成」といった AI 音声処理技術を学びます。AI 技術に欠かせない Python 言語を使って、コンピュータと声で対話するソフトを作ってみます。また、生成 AI の使い方を工夫して、自分だけのオリジナルな対話相手を作ることにもチャレンジします。

基本的な音声対話システムが完成したら、話している途中からリアルタイムで文字が表示される仕組みへの改良にも挑戦してみましょう。AI の仕組みを知り、自分の手でプログラムを書いて動かす楽しさを体験できる 2 日間です。



講座 内容	1 日目	午前	・オリエンテーション —テーマ説明と Python 入門—
		午後	・生成 AI に触れてみよう —プロンプトの工夫と AI 比較—
	2 日目	午前	・音声認識・音声合成を使ってみよう
		午後	・音声対話システムを作ってみよう —リアルタイム音声認識への挑戦—
事前課題	なし		
連絡事項	なし		
受講生用相談窓口	担当 : 西村良太 e-mail : nishimura.ryota.tz@tut.jp TEL : 0532-44-6622		

講座 7

自分の選択、本当に自分で決めている？
— 認知科学で探る人の意思決定のしくみ —

情報・知能工学系

日根 恭子 准教授

定員 4 名

お昼ご飯にパンを食べるかおにぎりを食べるか、家に帰って音楽を聴くか動画を見るかなど、私たちは毎日、自分の行動を選びながら生活しています。こうした「意思決定」とよばれる行動の選択は、自分で考えて決めているように思えますが、実は自分の意志だけでなく、周りの情報や状況など、さまざまな影響を受け、無意識のうちに気づかずに誘導されることが分かっています。

本講座では、認知科学の心理実験を実際に体験しながら、意思決定がどのように無意識のうちに周囲の影響を受けるのか、その仕組みの理解を深めます。このような研究は、効果的な広告やスマートフォンなど IT 機器の使いやすいデザイン開発などに応用されています。



自分の意志で決めている？それとも誘導されている？

講座 内容	1 日目	午前	・グループ分け ・実験方法説明
		午後	・心理実験
	2 日目	午前	・データ解析
		午後	・発表資料作成 ・成果発表
事前課題		なし	
連絡事項		データ解析と発表資料作成に PC を使うため、自身の PC を持参してください。	
受講生用相談窓口		担当 : 日根 恭子 e-mail : hine@cs.tut.ac.jp TEL : 0532-44-6891	

講座 8

身近な物質の結晶化と X 線構造解析

応用化学・生命工学系

原口 直樹 教授
藤沢 郁英 助手

定員 5 名

身近な物質は全て原子の組み合わせでできています。2 つ以上の原子が結合により結びついた分子は、その結合の種類と距離などによって、決まった立体構造をとります。

分子の正確な立体構造を知る方法の一つが X 線結晶構造解析法です。このテーマでは X 線結晶構造解析により、身近な物質に含まれる分子の立体構造を知ることが目的とします。

実験ではまず、砂糖（ショ糖）、味の素（L-グルタミン酸ナトリウム）、塩（塩化ナトリウム）の水溶液から結晶を作成します。物質によって、結晶化しやすい物質と結晶化しにくい（またはしない）物質があります。結晶化しやすい物質では、純物質に近づけば水溶液から結晶が析出します。作成した結晶は顕微鏡で観察を行います。

次に、別に用意してある結晶に X 線を当てて回折測定を行います。

最後に、解析プログラムを使用して、測定済みの回折データから結晶構造解析を行い、立体構造を決定します。

身近な物質の立体構造に興味を持ってもらえれば幸いです。



砂糖（ショ糖）の結晶

講座 内容	1 日目	午前	・ 構造表示ソフトを用いた様々な分子構造の観察
		午後	・ 砂糖、味の素、塩の水溶液を用いた結晶化溶液の調製
	2 日目	午前	・ 析出した結晶の観察 ・ X 線回折測定
		午後	・ パソコンを用いた回折データからの立体分子構造決定
事前課題	なし		
連絡事項	動きやすく、汚れても良い服装で参加してください。 短パン、サンダル等は避けてください。 実験室では飲食は禁止です。		
受講生用相談窓口	担当 : 藤沢 郁英 e-mail : ifujisawa@chem.tut.ac.jp TEL : 0532-44-6819		

講座 9

クロマトグラフィーを用いた分離と検出

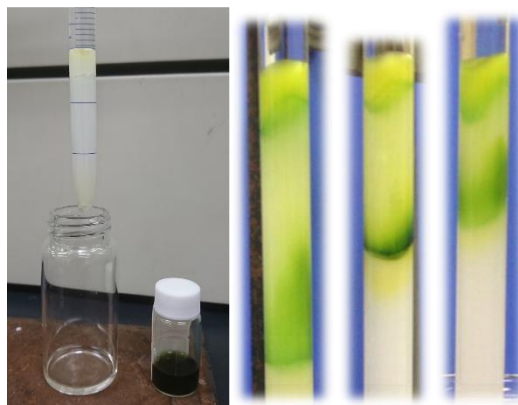
応用化学・生命工学系

齊戸 美弘 教授
中神 光喜 助教

定員 3名

身の回りに存在する物質は、そのほとんどが混合物です。複数の成分を混合することは簡単にできても、それらを元の成分に分離するのは容易ではありません。クロマトグラフィーは、多成分から構成されている混合物を個々の成分へ分離する技術の一つであり、「どのような物質」が「どれくらい」含まれているのかを調べることができます。食品に含まれている成分を分析する時や、屋内外の空気環境の調査、また、薬の材料から薬効成分のみを取り出す場合には欠かせない技術であり、幅広い分野において用いられています。

本テーマでは、2種類のクロマトグラフィー（ペーパークロマトグラフィーおよびオープンカラムクロマトグラフィー）を用いて、身の回りにある混合物の分離をします。種々の条件で分離を行い、どのような仕組みで分離ができるのかについて考えてみましょう。



講座 内容	1日目	午前	・クロマトグラフィーに関する講義・実験内容説明
		午後	・ペーパークロマトグラフィーによるインク成分の分離
	2日目	午前	・ミニオープンカラムの準備
		午後	・ミニオープンカラムによる抹茶中の色素の分離
事前課題		なし	
連絡事項		実験・作業があるため、作業しやすく汚れても良い服装、履き物で参加してください。	
受講生用相談窓口		担当 : 齊戸 美弘 中神 光喜 e-mail : saito@tut.jp nakagami@chem.tut.ac.jp TEL : 0532-44-6803 0532-44-6813	

講座 10

建物の振動を調べてみよう

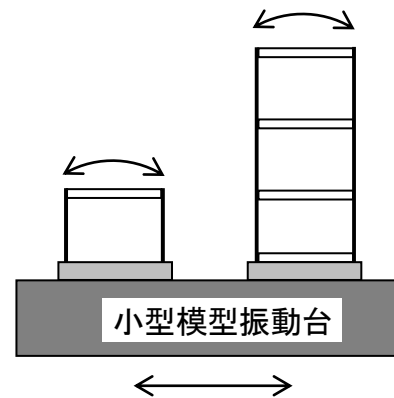
建築・都市システム学系

中澤祥二 教授
瀧内雄二 准教授

定員 4 名

建築・都市システム学の中の「構造分野」では、地震に対して安全な構造物を供給し、安全かつ快適な暮らしを守ることが大きなテーマです。現在、地震に対して強い建物を実現するために、「耐震工法」、「免震工法」、「制振工法」などが提案されています。これらの工法を採用するには、建物が地震時にどのように揺れるかを考える考慮する必要があります。特に、建物の周期が非常に重要となります。普段、建物は静止しているように見えますが、建物固有の周期で微小な振動を繰り返しています。

本講義では、(1) 耐震工学や耐震設計の基礎となる物理学や振動学の基礎を簡単に説明します。「振動学」については、高校物理で学習する振り子やバネの振動と関連が深いと思います。(2) 小型振動台を用いた模型振動実験から建物の共振を観察するとともに、(3) 加速度センサーを用いて大学の校舎の床応答加速度を実際に計測し、建物の固有周期を求めてみます。(4) 計測と関連して、コンピュータを用いて解析した様々な建物の応答シミュレーション結果を紹介します。



講座 内容	1 日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマ、スケジュール説明 研究テーマの背景について解説
		午後	<ul style="list-style-type: none"> 振動計測に関する基礎理論についての概説 微動計測装置の利用方法についての説明
	2 日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> 微動計測の準備、計測の実施 振動の波形処理の実施 建物の固有周期、減衰定数の結果の分析
		午後	<ul style="list-style-type: none"> 結果の分析のつづき、考察とまとめ 質疑応答、学内見学（研究室、実験室など希望があれば）
事前課題		なし	
連絡事項		なし	
受講生用相談窓口		担当 : 中澤祥二 e-mail : nakazawa@ace.tut.ac.jp TEL : 0532-44-6857	

講座 11

都市や交通のデータ分析・シミュレーション

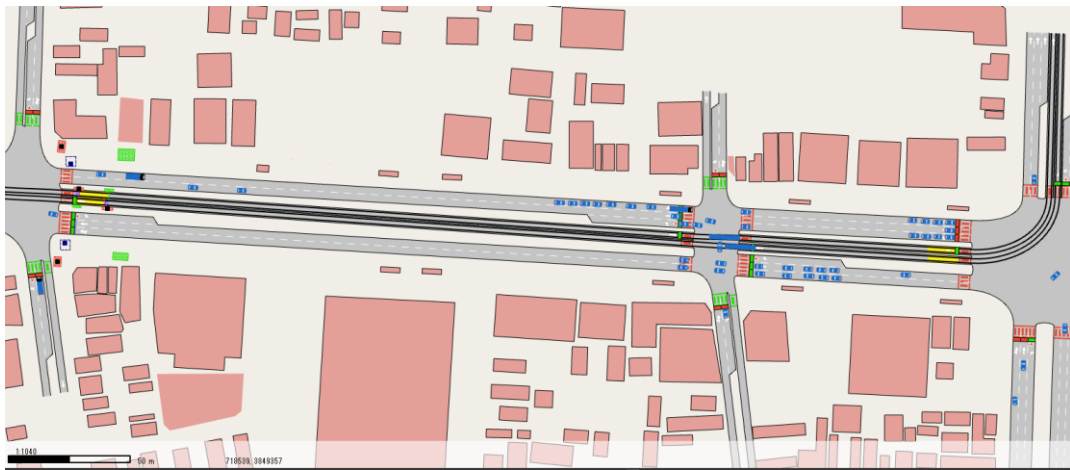
建築・都市システム学系

松尾 幸二郎 准教授
杉木 直 教授

定員 3名

都市計画や交通計画を考える上で、関連するデータを収集・分析することや、様々な施策が都市や交通にどのような影響を与えるのかを予測することは大変重要です。施策が都市や交通に与える影響を予測する一つの方法として、シミュレーションがあります。

本講座では、本研究室で行っている研究紹介を通じて、都市・交通に関するデータ収集や分析について知ってもらうとともに、コンピュータ上で実際の交通状況を再現し、様々な施策を行った場合の交通への影響を把握するための、交通シミュレーションを体験してもらいます。



講座 内容	1 日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究室の研究紹介 ・ 交通シミュレーションについての学習
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通シミュレーションについての学習（続き） ・ 交通シミュレーションの構築
	2 日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通シミュレーションの実施 ・ 結果の整理と考察
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結果の整理と考察（続き） ・ 成果発表
事前課題		なし	
連絡事項		なし	
受講生用相談窓口		担当 : 松尾 幸二郎 e-mail : k-matsuo@ace.tut.ac.jp TEL : 0532-44-6864	

講座 12

センサ技術で科学する

総合教育院

岡田 浩 教授、武藤 浩行 教授
TAN Wai Kian 准教授

定員 6 名

センサは自動車やスマートホンにも使われており、私たちの生活を知らないうちに便利にしてくれています。例えば「加速度センサ」はスマホの向きの検出や、車の衝突検出にも使われています。ここでは、いろいろな現象を数値化してくれるセンサを使った色々な実験を行なって、身近な現象の数値データをサンプリングします。実際の研究では、実験データを集めることは重要ですが、そのデータを使って現象を解明したり、新しい応用を考えたりするためのデータ解析や考察も大切です。

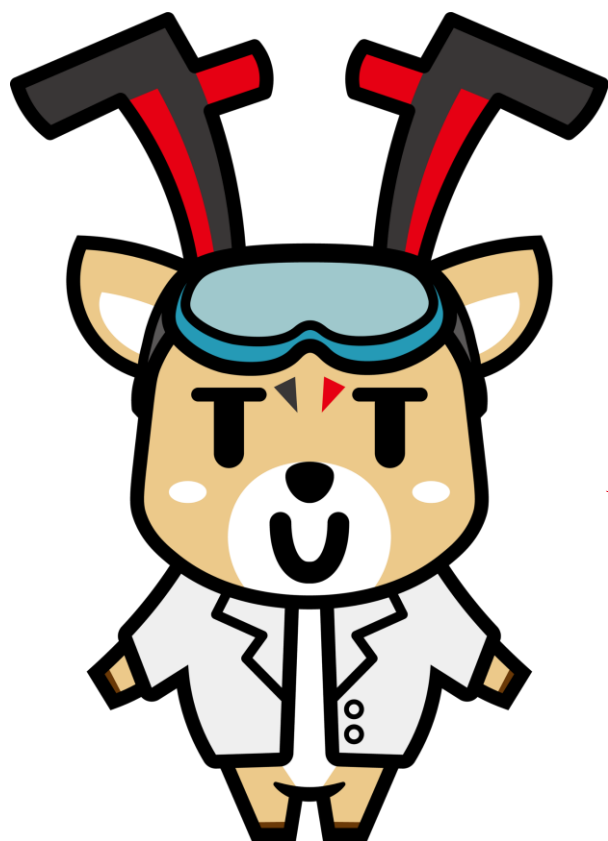
ここでは、センサを使って得たデータを集めるだけでなく、パソコン(PC)を使った解析にも挑戦してみましょう。センサを使ったからこそ得られる膨大なデータや、瞬間的な情報を、PCをツールとして使って追いかけていけば、何となく分かったつもりだったことの深い理解や、新しい応用の世界が広がるかもしれません。併せて、センサの仕組みについても勉強します。



講座 内容	1 日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体説明 ・ 講義
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ・ センサを使った基本実験 ・ データ解析
	2 日目	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・ センサを使った基本実験 ・ データ解析
		午後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 半導体工場見学 ・ まとめ
事前課題		高校 1 年生で学習する物理や化学、数学の知識を持っておくこと。Excel など、PC の基本的な使い方に慣れておくこと。	
連絡事項		データ解析に使う PC (Windows) は貸し出しをします。	
受講生用相談窓口		担当 : 岡田 浩 e-mail : okada.hiroshi.td@tut.jp	

ギカじか

サカキパークに生まれ育ったシカの研究者。安全ゴーグルと白衣を身につけ、なにやらすごい研究をしているらしい。キャンパスのどこかでひっそりとギカダイ生が次世代で活躍できるようにいつも見守っている。



〈チャームポイント〉
赤と黒の立派なツノ

〈好きな食べ物〉
技科大パン、カレー

Summer TECH-CAMPに
ぜひ来てね！

〈誕生日〉
10月1日（開学日）

〈趣味〉
ロボコン観戦、のんほい
パークでシカとおしゃべり

〈性格〉
いつもおおらか、
研究に対して熱しやすい

「ギカじか」は学内公募によって募集を行い、学内審査や全学投票を経て、2024年12月に本学のマスコットキャラクターに選ばれました。今後、学生・教職員をはじめ学内外の皆さまに広く愛され、親しみやすいキャラクターとして広報活動を行ってまいりますので、応援よろしくお願ひします。

アクセス情報

豊橋を舞台に、技術者への道が拓かれる。

日本の中心に位置する愛知県・豊橋市。この地に、「学び」のすべてが集約されています。

ACCESS MAP



■豊橋駅まで

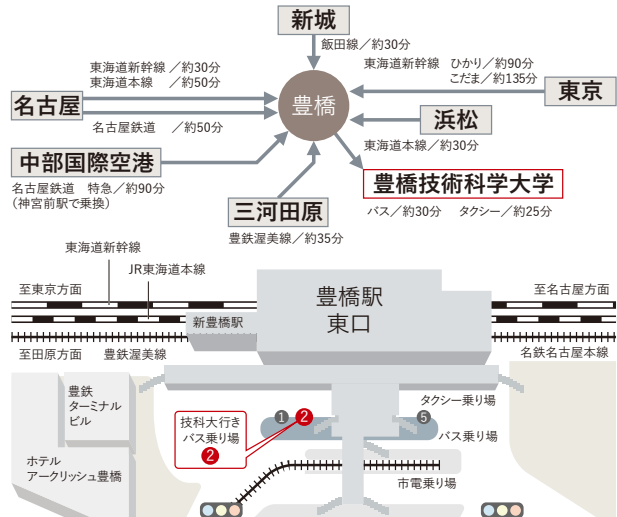
- 東海道新幹線** 名古屋駅から豊橋駅まで約30分
東京駅から豊橋駅までひかりで約90分
こだまで約135分
- JR東海道本線** 名古屋駅から豊橋駅まで新快速で約50分
浜松駅から豊橋駅まで約30分
- 名鉄名古屋本線** 名鉄名古屋駅から豊橋駅まで特急で約50分
中部国際空港駅から豊橋駅まで特急で約90分
(神宮前駅で乗換)

■豊橋駅より

- バス** 豊橋駅東口2番のりばから
豊鉄バス豊橋技科大線に乗車
「技科大前」で下車 所要時間約30分
(片道500円2025年10月現在)
- タクシー** 豊橋駅前から南へ8.2km 約25分
(豊橋駅～技科大 約4,000円)

■自家用車にて

東名高速道路 音羽蒲郡ICまたは豊川ICから約1時間



Location 豊橋

愛知県の南東部に広がる人口約37万人の都市「豊橋市」は、交通の要所であり東三河地区の中核都市として発展してきました。東は弓張山系を境に静岡県と接し、南は太平洋、西は三河湾に面しており、温暖な気候と豊かな自然に恵まれています。



路面電車(市電)



豊橋鬼祭



豊橋総合動植物公園
(のんほいパーク)



手筒火花



豊橋カレーうどん



伊古古海岸(表浜海岸)